

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

# 三春わが街

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

## ■コミュニティだより

VOL. 65 (年4回発行)

- 発行日 平成24年 9月30日
- 発行 三春まちづくり協会
- 編集 三春まちづくり協会広報部会  
三春町字大町178 (旧公民館内)  
TEL/FAX (62) 3988

《特別企画》

## 三分坂や新観つてどいっ？

拓本しながら歩いてみよう

街並部会事業

### 小浜海道

小浜 (岩代町) へ行く道で、絹の道ともいわれていました。

### 本陣

三春城下の町役人をつとめた川又家の屋敷を幕府巡検使などの宿所、本陣にしていたことから、このように呼ばれた。

年度	番号	地名	筆耕者
平成17年度	21	警城街道入口	鳴原 徳子
平成16年度	20	せり場	大室 ヤイ
平成15年度	19	道路元標復元	
平成14年度	18	踊り場	橋本 弘
平成13年度	17	担橋	渡辺 俊三
平成12年度	16	本陣	
平成11年度	15	燕清水	
平成10年度	14	山中	橋本 宗明
平成9年度	13	小金滝	
平成8年度	12	雁木田	三瓶 勉
平成7年度	11	馬場	加藤 肇
平成6年度	10	弓町	
平成5年度	9	烏帽子石	伊藤 進
平成4年度	8	小浜海道	
平成3年度	7	亀井	松本 泰一
平成2年度	6	丈六	
平成1年度	5	化粧坂	
平成0年度	4	お城坂	
平成99年度	3	道場町	多田 昭道
平成98年度	2	御免町	
平成97年度	1	桜谷	

△いま、三春町は東日本大震災、嵯峨川改修工事、商店街の再開など、街並みは大きく変わってきています。

例えば、職人横丁などは、すっかり姿を変えました。

あちこちで、古い土蔵や建造物も解体が進んでいます。

▲街並部会の事業として、平成9年度から設置した「町名石柱」は、現在三十一基になりました。

震災があっても、昔からある町名は忘れずに記憶にとどめ置きたいものです。

しっかりと石に刻まれた町名をもう一度見直してみませんか。

**拓本を楽しもう！**  
石柱の頭の左はしに、紙をあててエンピツでこすってみてください。浅彫りした文字が現れます。



ことしの新企画  
「石柱ラリー」の  
申込方法

- 1まず、10月9日(火)から10月13日(土)の午前10時から午後3時まで、三春まちづくり協会事務局まで申込みをして下さい。
- 2写真にある「拓本小冊子」をお渡しします。
- 3皆さんの都合のよい日に、7基以上の拓本をとって10月21日(日)午前中までまちづくり協会事務局にお持ち下さい。
- 4記念品を進呈いたします。

※年齢は問いません。  
気軽にお申込み下さい。

平成23年度	31	四軒丁	田母野公彦
平成22年度	30	師範場	永井 久
平成21年度	29	三分坂	渡辺 正吉
平成20年度	28	八十内	根本 忠
平成19年度	27	尼ヶ谷	新野 玉枝
平成18年度	26	日向町・北向町	国分 義久
平成17年度	25	新観	田村 顕秀
平成16年度	24	会下谷	松井 榮次
平成15年度	23	江戸街道	深谷 好子
平成14年度	22	会津街道入口	佐久間秀男

「プチ特集」  
《初心に聴く》②

今年も、多くの方々が生徒に三春まちづくり協会のスタッフとして加わり、協会運営にご協力いただくことになりました。前号に引き続き、新任委員の方々の『まちづくり協会活動に携わる初心』をお聴きしました。

生涯学習部会

橋本 紘毅さん

かつて生涯学習関係の仕事に携わっていたこと、また現在どのような生涯学習活動がなされているのか少し興味があったことから生涯学習部会に参加させてもらいました。

平成二十四年度の生涯学習部会の事業は例年とほぼ同じで、青少年の活動支援に特化された内容になっております。当初、事業内容が青少年関係に偏り過ぎていたのではと思いましたが、今までの事情、経過などお聞きしたところ、限られた予算等の関係上、生涯学習全般にわたって事業を展開するのは無理であることも理解できました。これらの事業に加え、今後の新たな活動として、三春町にはまちづくり協会の生涯学習部会以外にも生涯学習を支援しているボランティア組織があることから、こういった団体の方々と連携し、お互いの情報交換や意見交換などを図り、協力しあいながら少しでも三春町の生涯学習関係の事業、活動がより充実するよう微力ながら

努力してまいりたいと思います。

地域部会 松本 一さん

この度、まさかの地域部会長ということになりました。字役員の方御注意を！まちづくり合同部会へ都合悪く出席できなかったのですが、『出席しなかった者は、部会長又は副部会長に指名されるということになつていそうですか、受けたくない方は、出来るだけ出席する』ということになります。

これまで、私は「まちづくり」ということに興味がありませんでしたので、まちづくり関係の集いに出席したことがありませんでした。それで、これからは少しは活躍できればいいなと思っております。

まずは、昨年の散策で龍穂院より愛宕様から日化前と紫雲寺より中学前迄の散策をしました。この中で田母野先生より石碑めぐりを案内していただき十力所からの石碑の説明をいただき、このような素晴らしい内容の誌報が身近にあるとは、全然知りませんでした。その中でも、感心したのは天沢寺の三十三観音御詠歌でした。

今後、これを機に皆様方のご指導のもと進んでいきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

街並部会 渡辺 勝雄さん

字からの推薦で、参加することになりました。まちづくり協会の六つの部会に分かれていて、広範囲に活

動を展開していることを初めて知り、正直驚きました。「まちづくり協会」のことを知らなかったのは私だけのだろうか？もつと町民の皆さんにPRする必要があるのではないかと考えました。

街並部会に参加して、昨年度までの活動と本年度の計画について説明を受けました。町内にある石柱や新たに設置する石柱の由来等について研修することを聞き、興味が増えました。分かりやすく解説し、拓本ラリーを楽しめれば、子ども達の参加者も増え、郷土愛を育むことができると思います。

全体事業として、お城山へのアジサイの植栽・管理やいろいろな研修があるとのことなので、積極的に参加したいと思っております。

先日植えたアジサイの苗が、早く花を咲かせてくれることを楽しみにしています。

以上、五名の方々々に新任の初心をお聴きしました。共通して挙げている点は、①まちづくり協会の仕組みや役割が良く分からない②今まで、このような活動にあまり参加しなかった③実際に活動して、意義や重要性が理解でき、これからは積極的に参加して行きたい等でした。広報活動をおして、より多くの住民の皆さんに理解を得る方策や、まちづくり協会の組織や事業のあり方の検討に活かされればと考えます。

協会活動だより

環境部会

環境保全優良企業を視察

七月二十五日、環境部会の事業活動に参加しました。今回のテーマは、町内企業の環境保全視察研修です。八名の参加者で、大平工業団地内の「フガク工機株式会社」を訪問しました。



業務課の古川氏の案内で、先ず、映像を交えての会社概要の説明を受け、金型、機械装置のメーカー、いわゆる「日本の技」高度な精密部品の製造会社で最終工程では、人の手によるミクロン単位の世界で部品を製造している企業である事。その後、工場内を見学し、各現場でEcoに対する企業意識が高いと感じられました。環境保全への取り組みとして、環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001」を二〇〇五年に取得し、廃棄物の削減、リサイクル、省資源、省エネルギー化、騒音規制対策等、様々な取り組みがなされていきました。当日、ISOの監査中で、その一部を見学しました。地球環境保全の為、地域

福祉部会

特老「あぶくま荘」訪問

七月二十四日に、特別養護老人ホーム「あぶくま荘」を訪問しました。施設長から田村福祉会が運営している五施設の状況を説明していただき、さまざまな問題を話し合うことができました。

課題としては、入所を希望してもなかなか入所できないことがあげられました。田村福祉会の五施設の入所できる定員は、長期入所三百床、短期入所百床ありますが、現在の入所希望者が五百七十名います。三カ月に一度入所判定会が持たれ



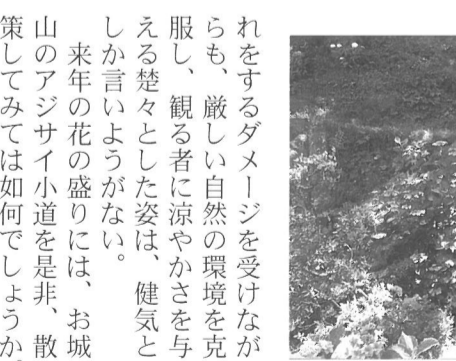
ていますが、入所できるまで長い期間待たなければなりません。

また、施設内を見せていただきましたが、家族に負けないほどの優しさで入所者の介護と看護、さらには最期の看取りまで真剣に取り組んでおられる職員の方々の姿に感動をおぼえました。

訪問を終えて、人生の最期は自宅で迎えたいと希望している多くの高齢者の気持にどのように応えたいか考えさせられた一日でした。(佐久間 眞)

編集後記

毎月第二水曜日に開催している出前懇談会が始まったのは平成二十年の四月のことだから、今年で五年目になる▼テーマによって参加者数も変わり、町民の興味の方もなんとなく分かれるところが面白い▼毎回役場各課の担当者が、しっかりと資料を作成し的確な説明をしてくれる。いま三春町がどう動いているのかを知る絶好の機会なので、ぜひ多くの町民に参加してほしい▼先日開催された第五十二回のテーマは「三春町公共施設整備検討委員会」の検討内容についてだった。三春町役場庁舎・町民図書館の整備、廃校となる中学校の活用などについて検討委員会の中間報告という形で説明があった▼気になったのは建物中心の会議なのではないかという点だ。会場からも意見が出たが、古くなったから、不便だから、危険だから建て直すというだけではなく、どんな夢のある図書館にするのか、行政改革の考え方を役場庁舎にどう盛り込むのか、三春町ならではのアイデアにあふれた廃校の利用など、充分時間をかけて話し合ってほしい。(永井)



【スポット】「城山公園」  
今年の夏は、猛暑につぐ猛暑で記録づくしの異常気象であった。この猛暑にもかかわらず、四年がかりで植栽したお城山のアジサイが見事に花を咲き揃えた。夏の花とはいえ、多少葉枯れをするダメージを受けながらも、厳しい自然の環境を克服し、観る者に涼やかさを与える楚々とした姿は、健気としか言いようがない。来年の花の盛りには、お城山のアジサイ小道を是非、散歩してみても如何でしょうか。

コミュニティだより  
「三春わが街」第六十五号  
発行日 平成二十四年九月三十日  
発行 三春まちづくり協会  
編集 三春まちづくり協会  
広 報 部 会  
三春町字大町一七八  
(六二) 三九八八